

【 3年 】 国語科「単元まるごと活用」授業記録

単元名	読んで、かんそうをもとう「イルカのねむり方」「ありの行列」	
つけたい力	文章構成やそれぞれの段落の内容をとらえ、比較する力。	
(学ぼせたいこと) キーワード	はじめ、中、おわり、問い合わせ、答え、文章構成、段落の内容	
学習材	「ありの行列 パート2」	
本時のねらい	文章構成を把握し、段落の内容の違いにより文章の分かりやすさが変わることに気付くことができる。	
本時の課題	学んだことを生かして、2つの文しょうをくらべよう。	
授業展開	つかむ	「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用 1 「イルカのねむり方」と「ありの行列」を読む時に気をつけたことは? ・はじめに問い合わせの文、おわりに答えの文があった。 ・段落ごとに書いてある内容が違っていた。
	考える学び合う	「思考、判断、表現・記述する」の活動場面 2 「段落読み」をする。 3 あなただったら、どちらの文章を選びますか? (ノート→発表) ・パート1を選びます。パート1の9段落を見て下さい。「このように、～というわけです。」と書いてありますね。だから、答えはすぐに分かるけど、②はおわりの中のどれが答えなのか分かりにくいからです。 ・パート1を選びます。パート2ははじめに答えが書いてありますね。パート1は、考えたり調べたりした順序で書いてあって分かりやすいけど、パート2は中やおわりの文章を読まなくとも、はじめに答えが分かっていて順序がおかしいからです。 ・パート2を選びます。パート1よりもっとくわしく書いてあると思ったからです。
	まとめる	「交流・確かめ」の活動場面 4 まとめ ・文章の内容が同じでも、順序がちがうと分かりにくくなる。
	板書	
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を視点（本時で気付かせたいこと）をもって読ませておくべき。 教材文を板書に示し、実際に比較させながら授業を展開していく必要があった。 目的意識をもって取り組めるような分かりやすい課題にするとよい。 (「2つの文章のどちらが分かりやすいか考えよう」など) 	